

平成30年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

北九州市立 池田 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成30年6～7月に、5年生を対象として、「体力・運動能力」と「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。また、運動習慣については、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※本調査により測定できるのは、体力・運動能力の特定の一部です。

1. 調査の目的

- (1) 子どもの体力等の状況に鑑み、国が全国的な子どもの体力の状況把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各公立学校が全国的な状況との関係において自らの子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子どもの体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各公立学校が各児童の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

2. 調査内容

(1) 実技に関する調査

[8種目] 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン、50m走、立ち幅とび、ソフトボール投げ

(2) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

3. 体力・運動能力に関する調査結果の概要

全国・本市・本校の実技調査の結果

<男子>

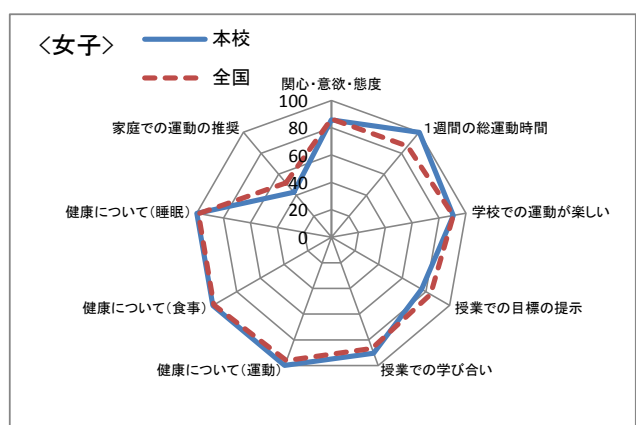
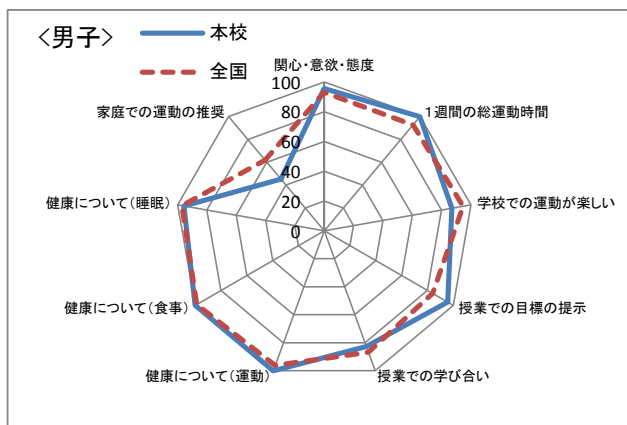
本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.54	19.95	33.31	42.10	52.15	9.37	152.24	22.15	54.21
本市	16.69	20.49	33.79	42.59	55.22	9.38	154.29	23.74	55.23
本校全国平均以上の種目	○				○		○	○	

<女子>

本年度の結果	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
全国	16.15	18.96	37.62	40.32	41.88	9.60	145.94	13.77	55.90
本市	16.24	19.41	37.96	40.62	44.39	9.61	147.43	13.93	56.64
本校全国平均以上の種目	○					○			

4. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査レーダーチャート



質問紙調査の結果分析

- ・ 健康であるために大切な3項目(運動を行うこと・食事をしっかり摂ること、よく寝ること)のすべてが、大切と感じている児童は、全国・北九州市と比較して高い。このことから、運動・食事・睡眠をすることと、健康な体づくりには、大きな関わりがあることをしっかりときちんと理解ができています。
- ・ 学校の体育の授業以外でも、「運動(体を動かす遊びをふくむ)やスポーツを行っている。(1週間に60分以上の割合)」という質問に対しては、全国・北九州市と比較して高い結果を得ている。本校の「池田運動タイム」(中休みに実施)でも、しっかりと体を動かす姿が常に見られるので、今後も継続していきたい。
- ・ 「体育の授業では、授業の最後に今日学んだ内容を振り返る行動を行っていますか」という質問に対して、肯定的に答えている児童が、全国・北九州市と比較して高い傾向にある。今後も、学んだ学習を振り返って、自分自身への成長へとつなげていけるように声かけをしていきたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

・ 体育科学習の準備運動は、各学級で工夫(例えば、キッズダンス・ジャンプアップ運動等の実施)をした。

・ 普段の体育科学習の「めあてを知ること」や「ふりかえりをする」を、毎時間毎時間、しっかりと定着させることができた。また、児童のふりかえりに対しても、教師が価値付けをしていくことができた。その結果、体育科学習を楽しみにしている児童の姿がよく見られた。

・ 柔軟性や俊敏性に関しては、全国・北九州市と比較して低かったため、体育科学習の前には、しっかりとストレッチ等もしてから、学習活動に入るように教職員で共通理解を図る。

以上の項目は、今後も継続して取り組んでいく。

② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

・ 天気の良い日の中休みは、一校一取組として「池田運動タイム」を位置づけ、全児童の外遊びを奨励した。体を動かすことの大切さを体感させることができた。全校放送や始まりの音楽を流していたが、取組が定着すると、放送をしなくても自然と運動場に出て遊びに行く児童が増えた。

・ 保健学習や食育指導、様々な児童会の活動等で、自分の体に関心をもたせ、健康に生活するためには、食事と健康以外に体力の向上が必要であることを理解させた。

・ 年間を通して、日頃から取り組める運動(梅雨の時期や冬場に体育館でのドッジボール・冬季の長縄集会等)について、みんなでめあてを作ったり、縦割り学級で協力したりして取り組むことができた。

・ 小中連携の一環として、中学校の保健体育科の教師に数回来校して頂き、陸上記録会に向けてのトラック競技指導をしていただいた。